



令和 7 年 9 月 26 日



令和 7 年上半期名古屋港港湾統計速報

(概 況)

入港船舶は、隻数が 13,860 隻(前年比 2.5%増)と前年実績を上回り、総トン数が 1 億 692 万トンと前年並みとなった。

総取扱貨物量は、8,013 万トン(同 5.9%増)と前年実績を上回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車や自動車部品等の増加により 2,206 万トン(同 6.4%増)、輸入は原油等の増加により 3,437 万トン(同 4.2%増)と輸出入ともに前年実績を上回り、全体で 5,643 万トン(同 5.1%増)となった。

また、内貿貨物では、移出は完成自動車等が増加し 1,233 万トン(同 16.4%増)と前年実績を上回り、移入は 1,136 万トンと前年並みとなった。全体では 2,370 万トン(同 8.0%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出はゴム製品等の増加により 1,127 万トン(同 1.6%増)、輸入は衣服・身廻品・はきもの等の増加により 1,167 万トン(同 4.4%増)と輸出入ともに前年実績を上回り、全体で 2,294 万トン(同 3.0%増)となった。

コンテナ取扱個数は、外貿コンテナが 129 万 TEU(同 2.8%増)、内貿コンテナが 8 万 TEU(同 3.4%減)となり、外内貿合わせて 136 万 TEU(同 2.5%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位 5 ヶ国を見ると、輸出においては、アメリカが完成自動車等の増加により 250 万トン(同 18.6%増)、中国が自動車部品等の増加により 228 万トン(同 4.5%増)、オーストラリアが完成自動車等の減少により 140 万トン(同 15.7%減)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により 137 万トン(同 23.5%増)、タイが自動車部品等の増加により 118 万トン(同 5.3%増)となった。

一方、輸入においては、中国が鉄鉱石等の増加により 684 万トン(同 8.7%増)、オーストラリアが石炭等の減少により 628 万トン(同 4.2%減)、アメリカが LNG(液化天然ガス)等の減少により 311 万トン(同 14.4%減)、サウジアラビアが原油等の増加により 230 万トン(同 32.7%増)、カナダが石炭等の増加により 187 万トン(同 4.3%増)となった。